

アイデアを出すブレインストーミング ～学んだことを活用するために①～

ねらい

○講話などを聞いたり、体験活動を行ったりした後で、家庭での活用方法などのアイデアを、自由な発想で多く出すことができる。

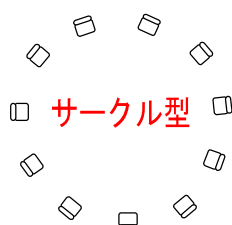
特徴

思考整理 ★★★★★
気付き ★★★★★
仲間作り ★★★★★

活動の様子

(1グループ 5～10人程度)

【会場のレイアウト例】



サークル型

好き嫌いをなくすには?



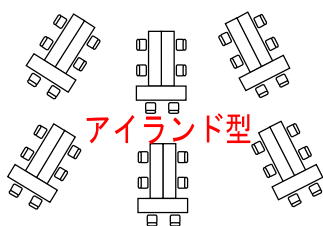
一人では思いつかないようなアイデアがたくさん出たわ。



グループ同士で、何枚書けるか競争したから、たくさん書けたね。

【準備物等】

- ・付箋紙 (あれば)
- ・模造紙 (グループ数)
- ・マジックペン



アイランド型

主な流れ (例)

- 1 講話や体験活動を行う前に、付箋紙を用意しておく。(付箋紙を使わなくてもできる。)
- 2 自由に発言し、すべてを黒板や模造紙等に記録する。(付箋紙の場合は、模造紙に貼る。)

【発言の際のルール】

- ・批判厳禁：出されたアイデアに対する批判などは一切してはいけない。
- ・自由奔放：どのような突飛なアイデアでもよい。アイデアを思いつくままに出し合うことが大切。
- ・相乗り歓迎：他のアイデアに乗って出されるアイデアも歓迎。
- ・質より量：できるだけたくさんの多様なアイデアを出すことが望ましい。

- 3 出されたアイデアをまとめて、意見をまとめる。

※進行役は、あらかじめ決めていた時間を知らせ、終了の合図を出す。

運営上の留意点

進行役は、的外れな方向に進まないように軌道修正を!

発言が尽きるまで行う場合と、はじめから時間を設定して行う場合があります。連続であり長い時間行っても効果が薄いため、進行役は、気分転換等を図るなどして、状況を見ながら進行しましょう。また、アイデアが出ない時は、ワークシートの「オズボーンのチェックリスト」など、チェックリスト法を活用しましょう。